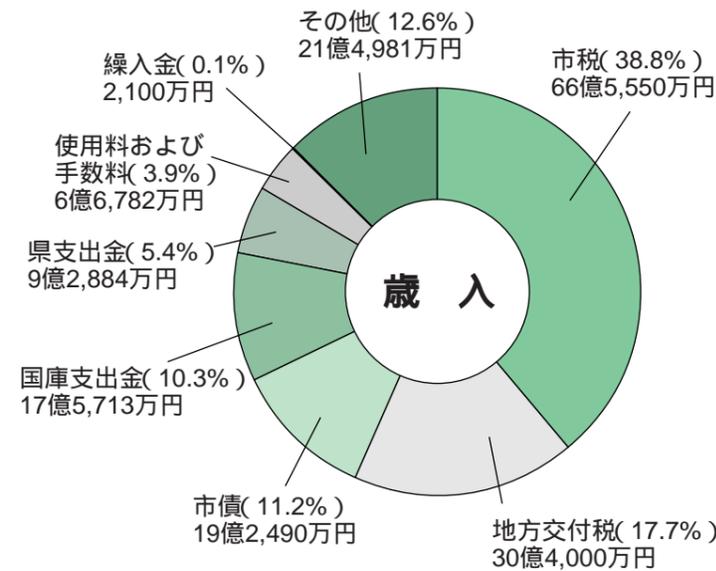
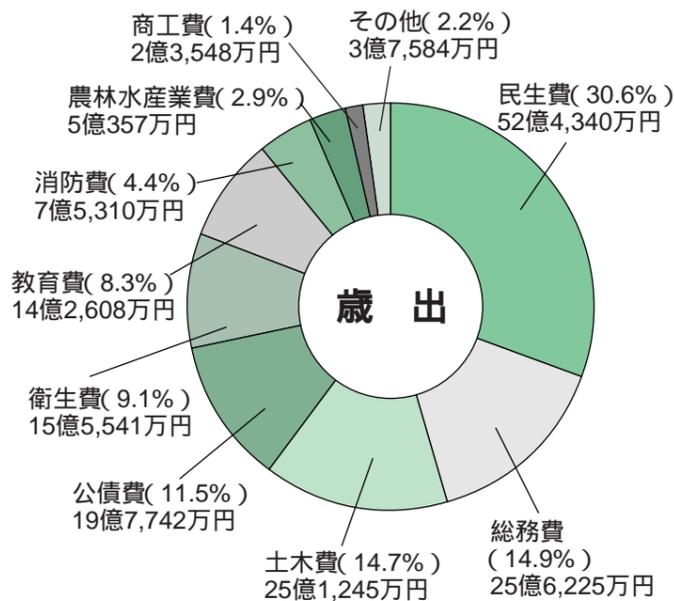


予算総額 324億7,068万円

【会計別予算】 (千円)

会計	平成23年度	平成22年度	前年度比
一般会計	17,145,000	16,800,000	2.05%
特別会計			
国民健康保険特別会計	3,678,000	3,623,000	1.52%
老人保健特別会計	0	482	100%
後期高齢者医療特別会計	357,079	358,850	0.49%
介護保険事業特別会計	2,674,290	2,614,388	2.29%
介護保険サービス事業特別会計	465,348	452,532	2.83%
計	7,174,717	7,049,252	1.78%
企業会計			
水道事業会計	1,895,498	1,812,397	4.59%
下水道事業会計	3,422,259	3,323,544	2.97%
病院事業会計	2,833,208	2,881,210	1.67%
計	8,150,965	8,017,151	1.67%
合計	32,470,682	31,866,403	1.90%

【一般会計予算の内訳】 総額171億4,500万円



平成23年度予算が市議会に提案され、原案どおり可決成立しました。
今年度の予算は、厳しい財政状況の中、経費を削減しながら財政の健全化を進め、実施計画に基づき効果的かつ効果的に事業を展開する「健全な財政運営を基本とした堅実型予算」としてまいります。
この予算に基づき、3つの重要課題と6つの推進プランで、夢がきらめく元気なまちづくりを進めます。

平成23年度 予算とまちづくり



夢がきらめく元気なまちづくりに向けた 6つの推進プランと主な施策

はぐくみ 「教育・文化・スポーツ」の推進プラン

幼稚園・小学校の空調整備(1,420万円)
教室にエアコンを導入するための設計を行います。
デジタル教科書の導入(1,202万円)
各小学校にデジタル教科書を導入します。
伝の助かるた大会の開催(56万円)
まちまるごとミュージアムの開催(85万円)など
平成23年度は「水生生物」をテーマに開催します。

ゆたかさ 「産業基盤・地域活力」の推進プラン

グルメマップ・観光ガイドマップの作成(230万円)
観光フリースポットの設置(30万円)
携帯端末等が接続できる「フリーWi-Fiアクセスポイント」を公共施設などに設置し、観光情報を提供します。
ため池集の作成(336万円)
有害鳥獣防護柵設置への補助(400万円)など

やすらぎ 「環境・交通安全・防災防犯」の推進プラン

太陽光発電システム設置への補助(1,000万円)
個人住宅に設置する際の費用の一部を補助します。
通学路の歩行帯整備(3,800万円)
小中学校周辺の通学路に「歩行者ゾーン」を設け、通学時の安全確保に努めます。
青色防犯灯の整備(28万円)など

うるおい 「都市基盤・情報・道路交通」の推進プラン

JR社町駅前駐車場の整備(2,560万円)
幹線道路の整備促進(3億1,009万円)
東条社線・天神横谷線の工事や、大門北野線・滝野梶原線の設計などを行います。
ユニバーサル社会づくりの推進(3,671万円)など
社児童公園・上中第2公園トイレのユニバーサルデザイン化工事などを行います。

やさしさ 「子育て・保健・医療・福祉」の推進プラン

不妊治療への助成(200万円)
治療費の一部(上限10万円)を助成します。
子育て連絡ネットワーク(146万円)
子育て支援情報をパソコン・携帯電話等に配信します。
物忘れ相談ソフトの導入(280万円)
認知障害の早期発見と保健指導に役立てます。
市内の全保育所にAEDを設置(106万円)など

ささえあい 「人権・コミュニティ・行政経営」の推進プラン

兵庫教育大学との連携強化(220万円)
忠臣蔵サミットの開催(200万円)
忠臣蔵ゆかりの自治体が集まる忠臣蔵サミットを開催し、加東市を全国にPRします。
行政評価システムの導入(164万円)など
さらなる行政運営の効率化を目指し「事業仕分け」を実施します。

重要課題 行財政改革の推進

市税の伸びが期待できない中で、合併特例債の活用期限が近づくとともに、地方交付税の優遇措置が平成28年度から段階的に打ち切られることから、しっかりとした財政基盤の確立が喫緊の課題となっています。そのために、第2次行財政改革に取り組みることとし、平成25年度までの取組の指針となる「行財政改革大綱」を、これまでの基本目標や精神を引き継ぎながら、「行政経営の視点」を新たに加えて、策定しています。
今後は、この大綱に基づき、公共施設の適正化をはじめとした歳入の削減とともに、企業誘致やケーブルテレビを活用した新たなサービスの展開などにより、自主財源(歳入)の確保についても取り組んでいきます。また、市が実施している事務事業のあり方や是非を、市民をはじめとした外部から点検・評価を受ける「事業仕分け」を実施します。
庁舎の統合については、平成23年度に基本実施設計を行うことにより、統合に向けてさらに準備を進めます。

重要課題 安全・安心のまちづくり

消防団や自主防災組織の活動を支援し、地域の総合防災力を高めるとともに、安心安全ネットワークなどの情報網の整備、防災資器材の計画的な備蓄、加古川河川監視カメラのライブ映像をケーブルテレビで放送するなど、防災体制を強化します。消防の広域化は、西脇市、加西市、多可町と共に「北はりま消防組合」を設立し、新たな体制により運営します。少子高齢化が進む中で、安心して子育てができ、一人ひとりが健康で生きがいのもてる地域社会に向けて、妊婦健康診査費用の助成により、子どもへの健やかな成長を妊娠から支援するとともに、アフタースクールやファミリーサポート事業の充実、平成22年度に増築した「やしろこども園」を拠点に、情報豊かな子どもたちの成長を支援します。また、高齢者や障害者福祉では、福祉タクシー事業の充実や発達障害児の早期支援事業などを新たに実施するほか、「高齢者保健福祉計画及び第5期介護保険事業計画」、「障害者基本計画及び障害福祉計画」を改定し、さまざまな施策を推進します。

重要課題 産業基盤の充実

市の経済活性化に向けて、産学公人材イノベーション推進協議会との連携により「地域経済活性化基本計画」を策定し、短期的な施策や中・長期的な経済戦略案などを取りまとめます。さらに、若い世代の勤労者の定住促進なども含めて市の推進体制を再構築し、ひょうご東条ニュータウンインターパークへの企業誘致を中心に積極的に取り組みます。
農業分野では、地域の誇りである酒米「山田錦」の販路拡大をはじめ、集落営農組織や認定農業者への支援、地産地消の推進とともに、農業用地が補修期を迎えつつあることから、将来的な整備計画の策定に取り組みます。
観光分野では、全国の忠臣蔵ゆかりの市区町が集う「忠臣蔵サミット」や、NHKの「新兵衛史を歩く」の開催を通じて加東市を全国に発信し、地域の活性化や観光振興につなげます。
そして、景観や住環境に配慮しながら、上下水道や道路など暮らしの基盤整備を計画的に進め、特に懸案となっていた都市計画道路「滝野梶原線」についても整備に着手します。